

■拠点(下宿)

No.	施設名	資料2「集約の1案」で示す方向性	委員名(敬称略)	質問1: 利用状況	質問2: 「集約の1案」についての賛成・反対	質問3: 質問2で「○」「×」「△」を付けた理由	まとめ	参考(白書該当頁)
1	下宿市民プール	廃止	A委員		○	交通の便が悪い、しかし市民の為にプールは必要、再度、中央公園に温水プールを作り図書館を移動し看護大学と共用利用できる冬場・雨天利用できる総合スポーツ施設をつくる。 屋内プールを1か所。 老朽化と維持費の割に利用者が少ない。学校プールの一般開放へ。 多くの市民が利用しようと思える施設でない。 市民プールへアクセスが悪く更に屋外で天候季節にも利用が制限されるので市民が利用しやすい場所にするべきです。 利用者の減少や老朽化。 学校プールの公開。 代替施設の確保の見通しが不明なので、判断できない。 現資料では、○×△を評価する情報が足りない。この場所にあることのメリットデメリット、廃止、移転することのメリットデメリットが提示されない中では判断できない。	委員9名のうち、1名が利用されています。 集約の1案に対しては、賛成が7名、どちらともいえない1名となっています。 屋外プールであるため、学校プールでの代替のアイデアや、アクセスの悪さが指摘されています。 一方で、屋内プールを求める意見が出ています。	p79-82
			B委員		○			
			C委員		○			
			D委員		○			
			E委員	○	○			
			F委員		○			
			G委員		○			
			H委員		△			
			I委員					
2	旧森田家	拠点(下宿)	A委員		×	廃止 文化価値が高いとは思われない。コストを無視すれば、郷土博物館に隣接する場所に移転、郷土博物館の一部とする。コミプラのはたおりも集中化を図る。 民間に委託。 維持費はかかると思うが、文化的に重要なので。使用料などで補填できれば。 有効利用されていない。民間移譲してもよい。 行く理由が無いと行かないし知名度も高くないのでまずは認知からなのかなと思います。 文化財としては重要だが、維持費が負担になる。利用しにくい。 ふせぎと連動した新座方面への文化拠点。 「総合学習」等での活用を図ることで、存在意義を発揮できる可能性があるのではないかと。 現資料では、○×△を評価する情報が足りない。この場所にあることのメリットデメリット、廃止、移転することのメリットデメリットが提示されない中では判断できない。	委員9名のうち、利用したことがある委員はいません。 集約の1案に対しては、賛成が4名、どちらともいえない3名、反対が1名となっています。 文化財としての重要性和維持のためのコストのバランスをどうとるのかという視点で、賛否が分かれています。	p69-71
			B委員		△			
			C委員		○			
			D委員		△			
			E委員		○			
			F委員		△			
			G委員		○			
			H委員		○			
			I委員					
3	市民体育館	拠点(下宿)	A委員		○	ただし、正式な大会ができるよう、リフォーム・メンテナンスが必要。できれば冷暖房機能もつけて。 コミプラは不便。下宿の利用率は高い。 市民センターと併設ということであれば、現状のままでよいと思う。 使用するには手狭でアクセスが良くない場所なので使いにくいです。 遠い。市内に二か所は不要。 内山グラウンドと共に新座方面へのスポーツ拠点。 健康体力づくりは人生100年時代に不可欠な施策であり、そのために必要な施設である。 現資料では、○×△を評価する情報が足りない。この場所にあることのメリットデメリット、廃止、移転することのメリットデメリットが提示されない中では判断できない。	委員9名のうち、6名が利用されています。 集約の1案に対しては、賛成が5名、反対が3名となっています。 賛成の意見としては、体育館の持つ健康づくり機能が必要であるとの視点での意見となっています。 反対の意見は、アクセスの不便さ、施設の使いづらさに言及しています。	p79-82
			B委員	○	×			
			C委員	○	○			
			D委員	○	○			
			E委員	○	×			
			F委員		×			
			G委員	○	○			
			H委員		○			
			I委員	○				
4	清瀬清掃事務所	拠点(下宿)	A委員		△	場所は地図で理解しているが、実際、見たことがないし、何をするとするか知らないの判断できません。 新庁舎への移転に賛成。 代替の考えがなければ現状でよい。 大型ごみを直接持参するには良い場所化とは思いますが。 移転させる必要性を特に感じない。 他所で理解を得難い。 行政事務機能はここでなくてもOK。 現資料では、○×△を評価する情報が足りない。この場所にあることのメリットデメリット、廃止、移転することのメリットデメリットが提示されない中では判断できない。	委員9名のうち、6名が利用されています。 集約の1案に対しては、賛成が7名、どちらでもないが1名となっています。	p31-33
			B委員	○	○			
			C委員	○	○			
			D委員	○	○			
			E委員	○	○			
			F委員	○	○			
			G委員	○	○			
			H委員		○			
			I委員					

■拠点(市役所周辺)

No.	施設名	資料2「集約の1案」で示す方向性	委員名(敬称略)	質問1: 利用状況	質問2: 「集約の1案」についての賛成・反対	質問3: 質問2で「○」「×」「△」を付けた理由	まとめ	参考(白書該当頁)
5	清瀬市役所	H32建替え予定、拠点(市庁舎周辺)	A委員	○	×	清瀬中に清瀬小を吸収させ、小中一貫校とし、健康センターを移行させ、旧清瀬小建物・旧健康センター建物・現市役所建物で総合市役所の機能をあげる、又は集中化させる。	委員9名のうち、9名が利用されています。集約の1案に対しては、賛成が7名、反対が1名となっています。反対意見としては、庁舎だけでなく、周辺の公共施設も含めた集約化のアイデアを出していただいています。	p31-33
			B委員	○	○	市の中心として一番便利であり多くの機能を持たせるべき。		
			C委員	○	○	設計図が出来ているとしたら、この段階でも、他施設移転等可能かどうか心配。		
			D委員	○	○	計画が進んでいるため。		
			E委員	○	○	一か所で用事が済ませることが出来て色々な情報が入手できてイベントホールや喫茶などがあると更に良いかと思えます。		
			F委員	○	○	建て替えて使いやすくなることを期待。		
			G委員	○	○	行政サービス機能の集約。		
			H委員	○	○	政策機能を集約した中核組織として不可欠。戸籍・社会保障等のワンストップサービス機能の整備も必要。		
			I委員	○		現資料では、○×△を評価する情報が足りない。この場所にあることのメリットデメリット、廃止、移転することのメリットデメリットが提示されない中では判断できない。		
6	健康センター	拠点(市庁舎周辺)	A委員	○	×	近隣の小学校の統合だけでなく、中学校と小学校の統合も考え、空いた校舎に移転して健康施設・体力施設を充実させたほうがよい。	委員9名のうち、8名が利用されています。集約の1案に対しては、賛成が6名、反対が1名、どちらでもないが1名となっています。反対意見としては、庁舎だけでなく、周辺の公共施設も含めた集約化のアイデアを出していただいています。	p39-41
			B委員	○	○	新庁舎への移転に賛成。		
			C委員	○	○			
			D委員	○	△	必ずしも市役所に併設していなくても構わないが、建物比較的新しいため。		
			E委員	○	○	屋内にプールを設置して屋内ジムと屋内スポーツが出来るスペース等もあると市民が健康にメタボ予防にもなるかと思えます。		
			F委員	○	○	市役所のそばで利用しやすい。		
			G委員	○	○	行政サービス機能の集約。		
			H委員		○	健康相談所と統合し、健康政策を展開する組織・施設として市役所の近くにあることの意味はある。		
			I委員	○		現資料では、○×△を評価する情報が足りない。この場所にあることのメリットデメリット、廃止、移転することのメリットデメリットが提示されない中では判断できない。		
8	健康相談所	拠点(市庁舎周辺)へ移転	A委員		△	統合後の校舎に健康センター移行させ、そこに、健康をキーワードとした公共施設を集める。	委員9名のうち、4名が利用されています。集約の1案に対しては、賛成が6名、どちらともいえない1名、反対1名となっています。賛成意見は、健康に関するサービスを集約することを挙げています。反対意見は、サービスの必要性への疑問を挙げており、どちらでもない意見は、健康センター単独ではない再編のアイデアを出していただいています。	p39-41
			B委員		○	新庁舎への移転に賛成。		
			C委員	○	○			
			D委員		×	休日歯科診療の存在意義が分からない。廃止しても良いのではないか。		
			E委員	○	○	市庁舎に移転した方が便利かと思えます。		
			F委員		○	健康センターへ集約した方がよい。		
			G委員	○	○	行政サービス機能の集約。		
			H委員		○	健康センターと統合し、健康政策を展開する組織・施設として市役所の近くにあることの意味はある。		
			I委員	○		現資料では、○×△を評価する情報が足りない。この場所にあることのメリットデメリット、廃止、移転することのメリットデメリットが提示されない中では判断できない。		
12	教育相談センター	教育相談→拠点(市庁舎周辺)へ移転 適応指導教室→拠点(コミプラ周辺)へ移転	A委員		△	適応指導教室の内容がまったく解らないので、判断できません。教育相談は市役所の傘下に入れるべき。	委員9名のうち、1名が利用されています。集約の1案に対しては、賛成が2名、どちらともいえない4名、反対1名となっています。「適応指導教室」の場所について、判断がつかかぬというご意見が多くありました。	p85-86
			B委員		○	内容ごとに統合する事に賛成。		
			C委員		△	教育相談、適応指導教室の両方を市庁舎周辺が良いのでは。		
			D委員	○	△	子どもたちが通う適応指導室が、さらに市の端へ移転するのがよいか疑問。		
			E委員		○	コミプラは使用しにくいかと思えますが・・・		
			F委員		△	適応指導教室の拠点をコミプラ周辺とあるが、もっと利用しやすい場所がよいのでは。		
			G委員			行政サービス機能の集約。		
			H委員		×	適応指導教室は教育相談と同じか、近い場所に集約する。		
			I委員			現資料では、○×△を評価する情報が足りない。この場所にあることのメリットデメリット、廃止、移転することのメリットデメリットが提示されない中では判断できない。		
14	子ども家庭支援センター	拠点(市庁舎周辺)へ移転	A委員		×	ころぼっくるの傘下にしては。	委員9名のうち、3名が利用されています。集約の1案に対しては、賛成が7名、反対1名となっています。反対意見としては、ころぼっくるセンターに残すという意見がありました。	p53-54 p62
			B委員		○	新庁舎への移転に賛成。		
			C委員	○	○			
			D委員	○	○	教育相談と同一で場所で行われるのが望ましい。		
			E委員		○	気軽に育児などの疑問を解決する場所として最適かと思えます。		
			F委員		○	利用しやすい。		
			G委員	○	○	行政サービス窓口の集約。		
			H委員		○	教育相談センター機能との連携も求められることから、この場所でOK。児童福祉・母子父子福祉と他の福祉施策との連動のためにも、この場所でOK。		
			I委員			現資料では、○×△を評価する情報が足りない。この場所にあることのメリットデメリット、廃止、移転することのメリットデメリットが提示されない中では判断できない。		

■拠点(コミプラ周辺)

No.	施設名	資料2「集約の1案」で示す方向性	委員名(敬称略)	質問1: 利用状況	質問2: 「集約の1案」についての賛成・反対	質問3: 質問2で「○」「×」「△」を付けた理由	まとめ	参考(白書該当頁)
10	コミュニティプラザひまわり	拠点(コミプラ周辺)	A委員	○	△	会議室系の教室は利用率がまったく低いので、社会福祉系の団体を移行させ占有施設にしたほうがよい。	委員9名のうち、8名が利用されています。集約の1案に対しては、賛成が6名、反対が1名、どちらでもないが1名となっています。反対意見としては「全市民には使用しにくい」、どちらでもないでは「利用率が低い」ことが指摘されています。	p72-75
			B委員	○	○	賛成ですが課題は交通の利便性です。		
			C委員	○	○			
			D委員	○	○	様々な団体が入居しており、移転等の考えは困難。		
			E委員	○	×	一部又はイベントで一時期のみの利用で全市民的には使用しにくいです。		
			F委員	○	○	ちょっと遠いが、駐車場もあるので現状のままでよいので		
			G委員	○	○	移転し難い。		
			H委員		○	本来的な役割を果たせるようにすることが必要。		
			I委員	○		現資料では、○×△を評価する情報が足りない。この場所にあることのメリットデメリット、廃止、移転することのメリットデメリットが提示されない中では判断できない。		
11	コミュニティプラザひまわり体育館	拠点(コミプラ周辺)	A委員		○	正式な大会ができるよう、リフォーム・メンテナンス・機材の充実が必要。	委員9名のうち、4名が利用されています。集約の1案に対しては、賛成が6名、どちらでもないが2名となっています。どちらでもないの意見では「市民の使用頻度が低い」「場所の適切性」が指摘されています。	p79-82
			B委員	○	○	体育館もグラウンドも貴重な施設です。		
			C委員	○	○			
			D委員	○	○	稼働率は高いように思われる。		
			E委員		△	28年度に1億円で防水加工工事を行っているがイベントで使用する程度で市民がスポーツに使用している頻度は低すぎるのではないかと思います。		
			F委員		△	一つは欲しいが、場所が適切なのか。		
			G委員	○	○	移転し難い。		
			H委員		○	健康体力づくりは人生100年時代に不可欠な施策であり、そのために必要な施設である。		
			I委員			現資料では、○×△を評価する情報が足りない。この場所にあることのメリットデメリット、廃止、移転することのメリットデメリットが提示されない中では判断できない。		
9	清瀬ボランティア・市民活動センター	拠点(コミプラ周辺)へ移転	A委員		△	実際の活動がまったく理解できないので、判断できないが同じような趣旨の団体は同じ建物に集めて、横の連携を効率化したほうが良い。	委員9名のうち、4名が利用されています。集約の1案に対しては、賛成が5名、どちらともいえない2名、反対1名となっています。反対意見としては、「コミプラは利用しにくいのではないか」という意見がありました。	p93-97
			B委員	○	○	コミプラへの移転に賛成。		
			C委員	○	○			
			D委員	○	△	ボランティアセンターの統合移転から半年足らずで、こうした案が出るのが理解できない。		
			E委員	○	×	コミュニティプラザの場所がアクセスが良くなくと移転しても使用しにくいかも。		
			F委員		○	コミプラが市民活動の拠点になっている。		
			G委員		○	行政サービス機能の集約。		
			H委員		○	清瀬のまちづくりに市民の参加・参画を拡大するために必要な施設。位置の問題よりも、あり方自体を見直し、期待される機能を発揮していけるように再構築することが急務。		
			I委員			現資料では、○×△を評価する情報が足りない。この場所にあることのメリットデメリット、廃止、移転することのメリットデメリットが提示されない中では判断できない。		

■拠点(清瀬駅周辺)

No.	施設名	資料2「集約の1案」で示す方向性	委員名(敬称略)	質問1: 利用状況	質問2: 「集約の1案」についての賛成・反対	質問3: 質問2で「○」「×」「△」を付けた理由	まとめ	参考(白書該当頁)
15	清瀬けやきホール	拠点(清瀬駅周辺)	A委員	○	○	利用料金を下げ稼働率を上げるべき、映画も上映すべき、ロビーに喫茶スタンドを入れ、くつろげるスペースを作るべき。会議室はいらぬ目的変更を。	委員9名のうち、8名が利用されています。集約の1案に対しては、賛成が8名となっています。但し、内部のスペースの使い方や民間への売却という意見もありました。	p72-75
			B委員	○	○	清瀬の貴重な施設です。		
			C委員	○	○			
			D委員	○	○	独自の建物があり、まだ活用ができる。		
			E委員		○	ホールの面積が狭く公立中学校の合唱コンクールにも使えない状態なので民間企業に売却してイベントの内容もグレードが上がれば清瀬に人が集まるのでは。		
			F委員	○	○	イベント等開催するには駅に近い方がよい。		
			G委員	○	○	高い利便性。		
			H委員	○	○	駅から徒歩圏であることを活かした事業展開が望まれる。		
			I委員	○		現資料では、○×△を評価する情報が足りない。この場所にあることのメリットデメリット、廃止、移転することのメリットデメリットが提示されない中では判断できない。		
16	消費生活センター	拠点(清瀬駅周辺)	A委員		△	市役所傘下では。	委員9名のうち、4名が利用されています。集約の1案に対しては、賛成が6名、どちらともいえない2名となっています。主な賛成の意見としては、駅近くに立地していることを評価する意見があります。一方、単独でビルを所有する必要性が低いのではないかと意見や、サービス内容の見直しを求める意見があります。	p93-97
			B委員		○	駅近く便利で相談しやすい。		
			C委員	○	○			
			D委員	○	△	会議室の貸し出し等で、生涯学習センターなどと同じ場所でもいいと思われる。単独であれだけのビルのような形で維持するのがよいのか。		
			E委員	○	○	雨漏りなど老朽化している箇所が館内にありますが子育て世代は使用頻度が高い施設なので消費生活展などイベントを盛り上げられたらと思います。		
			F委員		○	利用しやすさ。		
			G委員	○	○	高い利便性。		
			H委員		○	商品テスト機能よりも、特殊詐欺対策等の啓発や望まない契約等してしまった市民への支援機能を発揮することが必要。		
			I委員			現資料では、○×△を評価する情報が足りない。この場所にあることのメリットデメリット、廃止、移転することのメリットデメリットが提示されない中では判断できない。		
17	清瀬・ハローワーク就職情報室	拠点(清瀬駅周辺)	A委員	○	△	ハローワーク・シルバー人材センター・男女共同参画センターを同じ建物内に集約する。	委員9名のうち、3名が利用されています。集約の1案に対しては、賛成が7名、どちらともいえない1名となっています。どちらでもないの意見では、就労支援施設などと集約するアイデアが出されました。	p93-97
			B委員	○	○	駅近く便利で相談しやすい。		
			C委員	○	○			
			D委員		○	利便性の面で現状維持が良い。		
			E委員		○	市役所とハローワークの相互性、情報共有があると良いかと思えます。		
			F委員		○	駅に近い利用しやすさ。		
			G委員		○	高い利便性。		
			H委員		○	「施設の課題等」に記載はないが、従業員を必要とする企業に不可欠だと考える。		
			I委員			現資料では、○×△を評価する情報が足りない。この場所にあることのメリットデメリット、廃止、移転することのメリットデメリットが提示されない中では判断できない。		
18	生涯学習センター	拠点(清瀬駅周辺)	A委員	○	△	生涯学習センターをコミプラに移動させコミプラと統合させる。	委員9名のうち、8名が利用されています。集約の1案に対しては、賛成が6名、どちらともいえない2名となっています。どちらでもないの意見では、「コミプラへの移転」アイデアが出されました。	p72-75
			B委員	○	○	駅近く便利で相談しやすい。		
			C委員	○	○			
			D委員	○	○	現状のままでもよいが、必ずしも駅周辺でなくともよい。		
			E委員	○	△			
			F委員	○	○	利用しやすさ。		
			G委員	○	○	高い利便性。		
			H委員	○	○	政策機能は市役所に集約したとしても、活動や相談機能は駅の近くでOK。		
			I委員			現資料では、○×△を評価する情報が足りない。この場所にあることのメリットデメリット、廃止、移転することのメリットデメリットが提示されない中では判断できない。		
19	男女共同参画センター	拠点(清瀬駅周辺)	A委員		△	ハローワーク・シルバー人材センター・男女共同参画センターを同じ建物内に集約する。	委員9名のうち、7名が利用されています。集約の1案に対しては、賛成が6名、どちらともいえない2名となっています。どちらでもないの意見では、就労支援施設などと集約するアイデアが出されました。	p93-97
			B委員	○	○	駅近く便利で相談しやすい。		
			C委員	○	○			
			D委員	○	○	現状のままでもよいが、必ずしも駅周辺でなくともよい。		
			E委員	○	△			
			F委員	○	○	利用しやすさ。		
			G委員	○	○	高い利便性。		
			H委員	○	○	政策機能は市役所に集約したとしても、活動や相談機能は駅の近くでOK。		
			I委員			現資料では、○×△を評価する情報が足りない。この場所にあることのメリットデメリット、廃止、移転することのメリットデメリットが提示されない中では判断できない。		
20	障害者就労支援センター	拠点(清瀬駅周辺)	A委員		△	シルバー人材センターと統合させ、新しい団体をつくる。	委員9名のうち、1名が利用されています。集約の1案に対しては、賛成が4名、どちらともいえない3名、反対1名となっています。反対意見としては「障害福祉センターへ移転できるのでは」、どちらでもないの意見では、「シルバー人材センターとの統合」などがあります。	p42-44
			B委員		○	駅近く便利で相談しやすい。		
			C委員		△	社協などと連携が取りやすいコミプラの方が良いのでは。		
			D委員	○	△	利便性の面で現状維持が良いとも思うが、他の障害者福祉事業と併設ということも考えられる。		
			E委員		×	障害福祉センターにまとめられるのでは？		
			F委員		○	利用しやすさ。		
			G委員		○	高い利便性。		
			H委員		○	ハローワークとの連携を考えると、この場でOK。		
			I委員			現資料では、○×△を評価する情報が足りない。この場所にあることのメリットデメリット、廃止、移転することのメリットデメリットが提示されない中では判断できない。		

■拠点外

No.	施設名	資料2「集約の1案」で示す方向性	委員名(敬称略)	質問1: 利用状況	質問2: 「集約の1案」についての賛成・反対	質問3: 質問2で「○」「×」「△」を付けた理由	まとめ	参考(白書該当頁)
7	郷土博物館	現状のまま	A委員	○	△	会議室機能を廃止し、書道・茶道・華道教室等、文化系中心の貸し部屋と陶芸窯・現像室等作っては、ロビーは常に市民の作品の展示施設に(保育園・小学生・中学生クラブの作品展)。	委員9名のうち、8名が利用されています。集約の1案に対しては、賛成が6名、どちらともいえない2名となっています。どちらでもないの意見では、館内のサービス内容の改良のアイデアが出されました。	p69-71
			B委員	○	○	文化施設として重要。		
			C委員	○	△	郷土博物館の利用者は少ないと感じているので、一部図書館の様な学生が勉強する場も併用しては。		
			D委員	○	○	独自の建物があり、まだ活用ができる。		
			E委員	○	○	現状で良いかと思えます。		
			F委員	○	○	現状のままです。		
			G委員	○	○	移転し難い。		
			H委員		○	市民にとって(とくに子どもたち)にとって、意味ある役割を果しているのかどうかの検証は必要。		
			I委員	○		現資料では、○×△を評価する情報が足りない。この場所にあることのメリットデメリット、廃止、移転することのメリットデメリットが提示されない中では判断できない。		
13	中央児童館・ころぼっくるセンター	現状のまま	A委員	○	○	もっと、おかあさんの要望を取り入れ、充実させるべき、元町図書館を移行させては、稼働率の低い部屋を転換させるべき。	委員9名のうち、8名が利用されています。集約の1案に対しては、賛成が8名となっています。	p72-75
			B委員	○	○	清瀬の貴重な施設です。		
			C委員	○	○	必要な施設、新しいから。		
			D委員	○	○	独自の建物があり、まだ活用ができる。		
			E委員	○	○	幼児、小学生に利用の重点を置かれていて中学生になると利用できる時間に制限があり使わなくなる。中学生にも体を使える場所を頂きたい。		
			F委員	○	○	駐車場を確保できる現状でよいのでは。		
			G委員	○	○	移転し難い。		
			H委員		○	「施設の課題等」に記載はないが、ホームページで見ると、必要性の高い施設だと考える。		
			I委員	○		現資料では、○×△を評価する情報が足りない。この場所にあることのメリットデメリット、廃止、移転することのメリットデメリットが提示されない中では判断できない。		
21	障害者福祉センター	現状のまま	A委員		△	福祉系の団体を統合し新しい組織をつくりそこに障害者部をつくる。	委員9名のうち、1名が利用されています。集約の1案に対しては、賛成が6名、どちらともいえないが2名となっています。どちらでもないの意見では、「福祉系の施設を集約するアイデア」が出されています。	p42-44
			B委員		○	障害者にとって大事な施設です。		
			C委員		△	社協などと連携が取りやすいコミプラの方が良いのでは。		
			D委員	○	○	現状のサービス機能を維持するのであれば、他に適当な場は見当たらない。		
			E委員		○	現状で良いかと思えます。		
			F委員		○	利用者に不便がなければ現状のままです。		
			G委員		○	移転し難い。		
			H委員		○	場所としては問題ないかと思うが、関連施策との連携の視点を重視しての施策の展開が求められる。		
			I委員			現資料では、○×△を評価する情報が足りない。この場所にあることのメリットデメリット、廃止、移転することのメリットデメリットが提示されない中では判断できない。		
22	中央図書館	現状のまま	A委員	○	×	廃止 竹丘地域センターのロビ、ベランダを改造し竹丘図書館を拡大させ、地域センターと共同運営する。	委員9名のうち、4名が利用されています。集約の1案に対しては、賛成が5名、どちらともいえないが2名、反対が1名となっています。反対意見としては、「地域図書館(竹丘)を拡大し、廃止する」、「どちらでもない意見では、「図書館は一箇所でいい」「老朽化しているので移転」などがあります。	p66-68
			B委員		○	空調・水道管は工事をすべき。		
			C委員		△	勉強の場を各地に作って欲しい。図書館としては、市内1か所で良いと思えます。		
			D委員	○	△	老朽化しているようにもみえる。駐車場が中途半端で、他に適当な場があれば移転しても良い。		
			E委員	○	○	現状で良いかと思えます。		
			F委員	○	○	市内に一つは必要。		
			G委員	○	○	移転し難い。		
			H委員		○	場所としては問題ないかと思うが、関連施策との連携の視点を重視しての施策の展開が求められる。		
			I委員			現資料では、○×△を評価する情報が足りない。この場所にあることのメリットデメリット、廃止、移転することのメリットデメリットが提示されない中では判断できない。		
23	子どもの発達支援・交流センター	現状のまま	A委員		△	ころぼっくる傘下にする。	委員9名のうち、2名が利用されています。集約の1案に対しては、賛成が6名、どちらともいえないが2名となっています。どちらでもないの意見では、「ころぼっくるセンターに入れる」というアイデアがありました。	p42-44
			B委員		○	市の大事な施設です。		
			C委員		○			
			D委員	○	○	専門性があり、ニーズの高い施設で他に適当な場は見当たらない。		
			E委員		○	現状で良いかと思えます。		
			F委員		△	場所的によいかわからない。		
			G委員	○	○	移転し難い。		
			H委員		○	場所としては問題ないかと思うが、関連施策との連携の視点を重視しての施策の展開が求められる。		
			I委員			現資料では、○×△を評価する情報が足りない。この場所にあることのメリットデメリット、廃止、移転することのメリットデメリットが提示されない中では判断できない。		
24	シルバー人材センター	現状のまま	A委員	○	△	ハローワーク・シルバー人材センター・男女共同参画センターを同じ建物内に集約する。	委員9名のうち、4名が利用されています。集約の1案に対しては、賛成が6名、どちらともいえないが2名となっています。どちらでもないの意見では、就労支援施設などを集約するアイデアや窓口の増設のアイデアが出されました。	p45-49
			B委員		○	市の大事な施設です。		
			C委員	○	△	シルバー人材センターの本拠地は残し、事務手続きの窓口を増やしてはいかがでしょうか。竹丘だけでは少ないと思えます。		
			D委員	○	○	現状のサービス機能を維持するのであれば、他に適当な場は見当たらない。		
			E委員		○	現状で良いかと思えます。		
			F委員		○	他に移転させる必要性を感じない。		
			G委員	○	○	移転し難い。		
			H委員		○	場所としては問題ないかと思うが、関連施策との連携の視点を重視しての施策の展開が求められる。		
			I委員			現資料では、○×△を評価する情報が足りない。この場所にあることのメリットデメリット、廃止、移転することのメリットデメリットが提示されない中では判断できない。		